

症例報告

頭蓋内動脈狭窄に対する
シロスタゾール(プレタール)の使用経験

Susaki Noriyuki
須崎 法幸
Oheda Motoki
大枝 基樹

Takahashi Tatsuo
高橋 立夫
Yokoyama Kinya
横山 欣也*

Tsugane Shinichiro
津金慎一郎

Tsurumi Arihito
鶴見 有史

はじめに

脳梗塞に対し再発予防、血管内治療後の再狭窄予防にシロスタゾール(プレタール)が使われるようになって久しいが、頭蓋内脳動脈狭窄病変に対しても、シロスタゾールの使用により狭窄病変が改善するとの報告が相次いでいる。われわれも同様の症例を経験したため、若干の文献的考察を加えて報告する。

症例提示

症 例：74歳，女性。

既往歴・家族歴：特になし。

喫煙歴：なし。

現病歴：2006年10月に頭部打撲後に当院受診し、精密検査を受けているが、MRI上脳梗塞を認めるもののMRA上は明らかな異常はなかった。2007年10月に「物忘れが多くなってきた」「めまいがする」という主訴で近医より紹介受診。HDS-R 22点。MRAを行ったところ、右前大脳動脈に狭窄を認め(図1)、外来にてフォローしていたところ、MRAにて前大脳動脈の閉塞を認めた(図2)が、症状に大きな変化は認めなかった。

治療経過：以上より、前大脳動脈狭窄症が進行したと考え、シロスタゾール200 mg/日の内服を開始した。その後症状に悪化はみられず、シロスタゾールを続行していた。

2008年10月に症状に変化のないまま、再度MRAを行ったところ、狭窄は改善し、以後悪化を認めていない(図3)。

考 察

今回、われわれはシロスタゾール単独により脳動脈狭窄が改善した可能性が高い症例を経験した。

従来、われわれは頭蓋内動脈狭窄に対しては、可能な症例については血管内治療を第一選択としてきたが、術後に抗血小板凝集阻害薬を通常服用する必要があること¹⁾、血管が再開通しても症状の改善につながらないことが多いこと、再狭窄率が低いこと、悪化する症例がゼロではないこと、など解決すべき問題は山積している。

ホスホジエステラーゼ阻害薬であるシロスタゾールは、抗血小板作用をもつにもかかわらず、安全性が高いとされ²⁾、高齢者に対しても使いやすく、最近では抗うつ作用、血管内皮の改善作用などの多彩な面も報告されるに至り³⁾、今までは血管内治療後や血管内治療が不可能な人に投与してきたが、他のアジア諸国での成績が公表されて以降⁴⁾、最近ではまずシロスタゾールにて反応をみて、改善しない人に血管内治療を考える、というより侵襲の低い治療から始める考え方もある。侵襲が低いことは、血管内治療のように機械的に破壊することで、たとえ一時的にせよ、高い狭窄改善をみてきたやり方とは一線を画するが、患者にとっては選択肢が増えたことは福音となっているに違いない。

シロスタゾールは、穿通枝領域のラクナ梗塞に対す

*独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター脳神経外科



図1 前大脳動脈に狭窄を認める

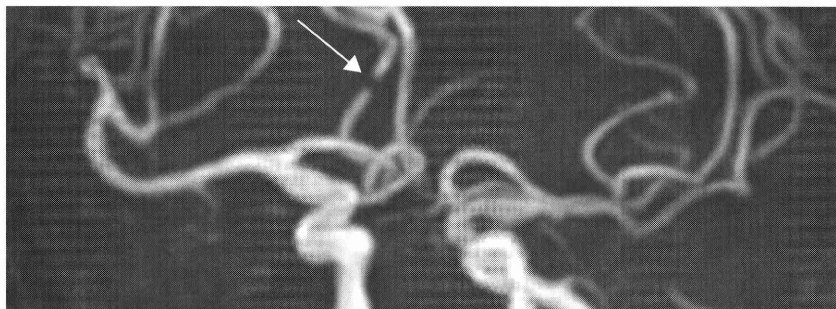


図2 前大脳動脈の狭窄が進行



図3 前大脳動脈の狭窄が改善

る唯一のエビデンスを有する抗血小板薬であり⁵⁾、血管拡張作用、血管内皮細胞機能改善作用など多面的な作用が明らかになり、理論的な背景が解明されれば、頭蓋内動脈狭窄病変に対する治療成績のさらなる改善が期待される。

おわりに

シロスタゾールについては、本症例のごとく頭蓋内動脈狭窄症に対する有効性の報告が増加しており、今

後、どのような症例が最も効果があるのか、など症例の蓄積を待ちたい。

文献

- 1) Douglas JS Jr, Holmes DR Jr, Kereiakes DJ, et al : Coronary stent restenosis in patients treated with cilostazol. *Circulation* 2005 ; 112 : 2826-2832.
- 2) Huang Y, Cheng Y, Wu J, et al : Cilostazol as an alternative to aspirin after ischaemic stroke : a randomised, double-blind, pilot study. *Lancet Neurol* 2008 ;

- 7 : 494-499.
- 3) 鳥越隆一郎：シロスタゾール(プレタール)の投与にて中大脳動脈の狭窄の改善とうつ状態の改善を示した脳梗塞の1例. Prog Med 2008 ; **28** : 2569-2572.
- 4) Kwon SU, Cho YJ, Koo JS, et al : Cilostazol prevents the progression of the symptomatic intracranial arterial stenosis : the multicenter double-blind placebo-controlled trial of cilostazol in symptomatic intracranial arterial stenosis. Stroke 2005 ; **36** : 782-786.
- 5) 永山正雄：EBMに基づく再発予防薬 抗血小板薬. 脳と循環 2004 ; **9** : 111-116.